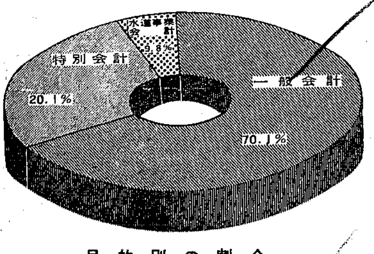
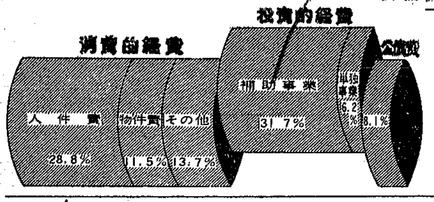
会計別の構成
総額 3,828,164,293円



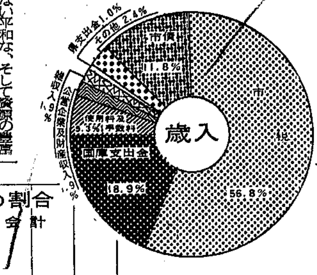
目的別の割合
図表(1)　一般会計　予算額 2,684,000,000円



次に二十六億八千四百万円となつた一般会計予算でどんな仕事がされるのでしようか、そのあらましについてお知らせしたいと思います。

まず歳出の総額を目的別（経費別）に区分致しますと図表(1)のようになり、消費的経費（人件費、物件費、生活保護費などの負担金等）が五四％、十四億四千九百余万円、投資的経費（建設事業費）三七・九％、十億一千七百余万円、公債費（市債の元利償還金）が八・一％、二億一千七百余万円となつており、更に使途別に区分致しますと図表(2)のようになりますが、土木費の二一・五％、市役所費の一九・五％、社会および労働施設費の一九・一％、教育費の一四・七％などが大きなものとして目立つています。一番大きな土木費の中には、今年最も重要な施策としてとりあげた地盤沈下対策事業費が五億一千余万円含まれており、この事業が進行することによつて市民のみなさんの不安も一掃されることになります。以下主なるものについてお知らせ致します。

図表(2)



5億7,743万円　21.5%

地盤沈下対策事業の推進と近代都市建設のために

まず何といつても新潟市の死活問題である地盤沈下問題を解決し、不安のない平和な、そして資源の豊富な郷土とするために五億一千余万

せられてから大型[illegible]続々と入港し、往年の活気をとりもどした新潟港も河口港の悲哀から、常時浚渫を必要とするため、これらの経費を中心とした港湾対策費、その他道路の巾員の拡大ならびに舗装修理、それに砂防事業など近代都市建設に必要な経費として次の通り計画しています。

また特別会計となつていますが市勢の伸展の基礎となる都市計画事業として街路築造、都市水利事業、土地区画整理事業等に一億四千六百余万円が計上されています。

1 地盤沈下対策事業費として　五億二千百六十四万円
2 新潟港の改良事業費として　一千二百七十三万円
3 道路橋梁ならびに河川の新設や維持改良費として　二千五百六十四万円
4 その他の土木事業費として　一千七百四十二万円

中学校卒業就職者を送る激励大会

新潟公共職業安定所管内の本年度中学校卒業生のうち就職希望者千五百名を三月三日市公会堂に招いて盛大な就職者の激励大会が開催されました。式は新潟市長、県職安所長等主催者の挨拶に始まり、県商工労働部長、商工会議所会頭等来賓祝辞のあ

築や求人側の温かい歓迎の言葉があり、白新中学校の谷みさ子さん等が就職者を代表して答辞を述べました。当日参会者には記念品が贈られ、レクリエーションとして映画を観覧の後、有意義に楽しい一日を過しました。

当日の会場は優しい学窓を巣立つ若々しい青年男女で溢れ、いずれも真剣な面持ちでこれからの門出に対して希望と勇気を持つて立派な社会人としての人生のスタートをするんだといつたのもしさが感じられました。

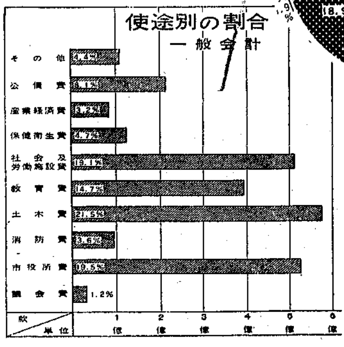
5億1,448万円　19.1%

民生の安定と福祉社会実現のために

健康で文化的な生活を営む権利が守られてこそ市民生活の安定が達せられます。このためにはまず社会保障制度が確立されなければなりませんが、新潟市の社会保障制度の主なものはどんな内訳となつているのでしようか。（国民健康保険は特別会計であるため除外）

療費を保障するために　二億一千百三十四万円
2 児童福祉や母子施設の維持発展のために　三千四百六万円
3 住宅の建設と維持費のために　五千七百四十一万円
4 失業対策事業として　一億四千八百四十万円

使途別の割合



3億9,546万円　14.7%

学校教育と社会教育のために

義務教育を行う小・中学校が六十一校、定時制を含む高等学校が五校あり、その生徒数は六四・八二四人となつています。義務教育の先生方の給料は国と県で半分ずつ負担してくれますが、校舎の新築や改築などの経費は、大部分市で負担することとなつています。特に三十五年度は中学校に進学する生徒が急増するため、中学校五校を増築、小学校においても不正常授業を解消しようと、それぞれ増築が計画され、これらの経費として、一億二千八百余万円を使うこととした外〝地方の実情に即した教育行政を行うため〟の教育委員会費や学校給食ならびにその他の事務費として二億五千七百余万円が予定されています。また教育、文化、学術のつながりのあるいろいろの事業を、実生活に即応して行い、住民の教養の向上、健康の増進を図る社会教育活動のために九百五十九万円を支出することとなつています。

1億2,713万円　4.7%

公衆衛生の向上と健康を守るために

近代衛生都市としての絶対条件である下水道工事は、従来ここから支出していましたが、三十五年度から地盤沈下事業に包含して施行することになりましたので、ここに計上されていませんが、引続き強力に推進することになつています。このほか結核や伝染病の予防と清掃ならびに乳幼児等の衛生や栄養改善のほか環境衛生の向上と増進のためにも大きな努力が払われています。

8,552万円　3.2%

産業の開発と発展のために

新潟は古くから港湾によつて栄えた商業都市でしたが、港の改修や鉄道の完備によつて近代都市としての基盤ができると、豊富な地下資源と恵まれた労働力によつて工業が発展し、大工場が相次いで建設され、生産高も年額四百六十二億円を超える工業都市と変りました。また農業面でも近村の合併により経営面積八、三〇〇町歩、農業戸数五、七〇〇戸とふくれ上り穀倉新潟としての面目を誇示しており、水産業においても漁獲高二万七千百屯と躍進の一途をたどつています。このような産業の一層の伸展のために、次のように経費があてられています。

1 商工業関係施策費として　五千百九十九万円
2 農林水産業関係事業費として　三千三百五十三万円

9,604万円　3.6%

火災をなくして平和な街づくりのために

非戦災地として恵まれてきた新潟も昭和三十年の大火に中心部の大半を焼きつくしてしまいましたが、再びこのようなことのないよう、恐ろしい火災から平和を守るために、昨年は待望のはしご消防車を備え付けましたが、明年度もこれに引き続き救急車を増設するなど更に施設の充実を図ることになつています。

その他

1 市の重要事項を決定する議決機関である議会に必要な経費として　三千百七十万円　一・二％
2 福祉増進のためいろいろの仕事をする職員の人件費や事務費として　五億二千四百九十五万円　一九・五％
3 市有財産の管理や火災保険料として　九百八十二万円　〇・四％
4 巨額の経費を必要とする事業には、政府やその他の金融機関から借入金をして資金にあてていますが、これらの元利金の償還や一時借入金の利子として　二億一千七百十七万円　八・一％
5 三十五年には国勢調査が実施されますが、これらの統計調査や選挙に必要な経費のほか、税金の徴収に要する費用ならびに公会堂の運営費、また国民健康保険会計への繰出金その他の経費として　一億四百三十七万円　四・〇％

以上、歳出について大まかにお話しましたが、これらをまかなう経費として税その他で収入がはかられることになります。そこで昭和三十五年度の場合を見ますと別表（歳入）のとおりとなつていますが、これらが完全に収入されてはじめて前述した各種の事業が行われることになりますので、この中でも五十六％を占める市税の収納の良否が財政運営上大きな影響を与えることになりますから、納税につきましては、特別のご協力をお願いいたします。

昭和35年度予算　1 総括表

区分		予算額 A	総額に対する比率
1	一般会計	2,684,000,000円	70.1%
特別会計	2 都市計画事業費	168,242,050	4.4
	3 国民健康保険費	228,193,816	6.0
	4 国民健康保険診療所費	3,127,944	0.1
	5 [illegible]	86,625,679	2.2
	6 [illegible]	15,780,003	0.4
	7 [illegible]	347,800	
	8 [illegible]	22,505,001	0.6
	9 競馬費	165,200,000	4.3
	10 競輪費	80,140,000	2.1
特別会計計		770,162,293	20.1
水道事業		374,002,000	9.8
合計		3,828,164,293	100.0

歳入　一般会計

科目	予算額 A	総額に対する比率
1 市税	1,525,200,000円	56.8%
2 地方譲与税	96,000,000	[illegible]
3 地方交付税	22,000,000	0.8
4 公営企業及財産収入	50,279,430	1.9
5 分担金及負担金	23,366,957	0.9
6 使用料及手数料	143,251,826	5.3
7 国庫支出金	506,884,061	18.9
8 県支出金	26,383,796	1.0
9 寄附金	14,341,500	0.5
10 雑収入	51,192,421	1.9
11 市債	315,100,000	11.8
歳入合計	2,684,000,000	100.0

一般会計　歳出

科目	予算額 A	総額に対する比率
1 議会費	31,699,411円	1.2%
2 市役所費	524,949,983	19.5
3 消防費	96,038,380	3.6
4 土木費	577,429,360	21.5
5 教育費	395,460,000	14.7
6 社会及労働施設費	514,475,213	19.1
7 保健衛生費	127,128,934	4.7
8 産業経済費	85,524,869	3.2
9 財産費	9,819,783	0.4
10 統計調査費	2,094,595	0.1
11 選挙費	1,884,984	0.1
12 公債費	217,176,205	8.1
13 諸支出金	90,318,183	3.4
14 予備費	10,000,000	0.4
歳出合計	2,684,000,000	100.0

新潟県赤ちやんコンテスト　新潟地区大会

昭和三十五年度春季県赤ちやんコンテスト新潟地区大会を次により開催いたしますからそろつておいで下さい。

一、主催　新潟県、新潟市、新潟日報社
二、日時　四月八日（金曜）
三、場所　新潟市西保健所講堂（白山浦二県立商高前）

（詳細は市東・西保健所へお問合せ下さい）

各科無料健康相談（四月中）

午後二時より三時半まで

科	曜日	日	場所
内科	第一火曜日	4月5日	西保健所
小児科	第一水曜日	4月6日	東保健所
外科	第二火曜日	4月12日	西保健所
皮膚泌尿科	第二水曜日	4月13日	東保健所
耳鼻科	第三火曜日	4月19日	西保健所
眼科	第三水曜日	4月20日	東保健所
産婦人科	第四火曜日	4月26日	西保健所
	第四水曜日	4月27日	東保健所

みんなではいろう
新潟市火災共済
消防本部内　電話③3208番

山崎證券
新潟支店
新潟市本町通七
TEL(2)8110・8109(3)4074

いつも気軽な　私たちの銀行
新潟縣信用組合
当組合3サービス
I 預金利子はすべて他より有利
II いくら少額でも集金参上
III 融資相談は簡易迅速
（本店）新潟市東堀前通六番町　TEL 代表(2)6181

新装開店
常に安い　新生的な
◎セルフサービス売店……1階
◎ニュース喫茶と食堂……2階
◎宴会集会に洋間とお座敷……3階
新潟古町5
清水フードセンター
・十字路売店・・・古町7番町

ゼネラルテレビ
新潟市万代町1
八欧電気新潟出張所
TEL ②3415